

2016年度 中央大学特定課題研究費 ー研究報告書ー

所属	商学部	身分	准教授
氏名	三木 朋乃		
NAME	Tomono Miki		

1. 研究課題

(和文) グリーンイノベーションのメカニズムの解明

(英文) How does green innovation happen?

2. 研究期間

2年間

3. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600字程度、英文 50word程度）

(和文)

本研究は、グリーンイノベーションのメカニズムを解明することを目的とする。近年、地球環境への負荷を低減するための取り組みが、世界的に行われている。その担い手となる企業に注目し、地球環境負荷低減の取り組みが経済的な成果に結びつくまでのメカニズム、つまりグリーンイノベーションのメカニズムを解明する。

具体的には、イノベーションの実現過程を2つの段階に分けて、初年度は、二次データを用いてグリーンイノベーションの特徴を明らかに、最終年度は事例研究をもとに具体的なイノベーションのプロセスを明らかにするという研究計画であった。

実際には、初年度は、技術開発段階および事業化段階における具体的なマネジメントプロセスを明らかにするために、環境・エネルギープロジェクトのプロジェクトリーダーを務めた経験のある方を対象として、質問票調査およびインタビュー調査をおこなった。

その結果、グリーンイノベーションプロジェクトは社外とのコミュニケーションが活発になりやすい一方で、中でも環境規制がある場合は社内の正当性を高める役割を果たすために予算が増大しやすいこともわかった。これを踏まえると、グリーンイノベーションの成否には、プロジェクトマネージャーが環境規制のような不確実性にどう対応し、プロジェクトをマネジメントするかが重要であることを導くことができた。

(英文)

The purpose of this research is to find out the mechanism of green innovation. For the analysis, we use the firm-level questionnaire survey conducted to a person with experience as a project manager within the company.

Our findings show that environmental regulations enhance the legitimacy of in-house resource mobilization, such as increasing project budget and information exchange from outside project.

The result indicates project manager need specific management know-how in the face of environmental regulation.